

ライフキャリア教育かながわモデル発信事業【神奈川県】

地域の実情と課題

- 神奈川県は
 - ・全国の中でも長時間労働、長時間通勤の傾向
 - ・M字カーブの谷の底の値、深さともにワースト1⇒管理職に占める女性の割合も低い。
- 本県の若年層は、理想の家庭像として「男女共同参画」が望ましいものの、現実には「育児は女性が中心」と考えており、そうした意識には特に女性の保護者の考え方など、家庭環境の影響が強く現れていることが、意識調査の結果から伺える。

事業の特徴

- 啓発冊子の改定等により、高校における取組みの一層の普及を図るとともに、文系・理系など、将来につながる進路選択の手前の段階にいる中学生に向けた取組みを新たに実施
 - ・高校生向け啓発冊子「mirai book」の改定、印刷配布
 - ・高校生向け出前講座の実施
 - ・中学生向けライフキャリア教育プログラム・教材の作成

事業の効果

- 高校生向け出前講座の受講者アンケートでは、講座が「参考になった」など、前向きな回答を得られた割合が82.7%
- 中学生向けライフキャリア教育プログラムについては、予定通り県内2校の中学で1回ずつ試行を実施し、プログラムが完成

目的・目標

- 就職前の若年層(高校生、中学生)を対象に、ライフ(生活)とキャリア(仕事)を一体的に考え、固定的性別役割分担に捉われることなく自身のライフプランをデザインする力を育成することで、本県の女性の活躍を一層推進する。

【目標】

高校生向け出前講座の受講者アンケートにおいて「ライフキャリアを考えるヒントが得られた」等、前向きな回答を得られた割合
【目標】86.0% ⇒ 【実績】82.7%

連携団体

- ライフキャリア教育かながわモデル発信事業検討委員会
 - ・・・学識者、県高校教育・中学校教育所管課より、企画・内容等に対する意見聴取を実施
- 県内市町村等
 - ・・・市町村会議や、女性活躍推進に関する取組みに係る情報交換会等で、本事業に関する情報提供を行うとともに協力を依頼

今後の課題

- 県内の多くの高校で、改定後の高校生向け啓発冊子を授業等で活用していただけるよう働きかけを行うことが必要
- 新たに作成した中学生向けプログラムを活用した講座をモデル的に実施しながら、県内の中学校に広く周知し活用を促していくことが必要

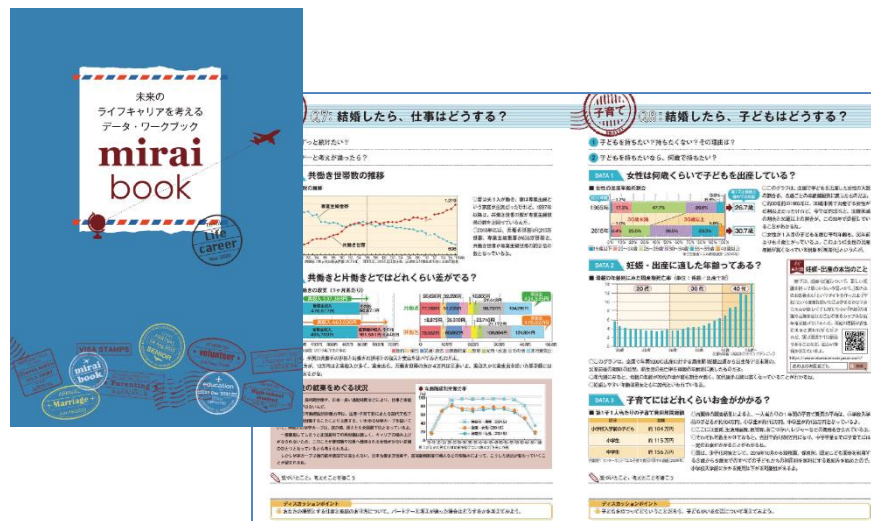
事業の概要

高校生向け啓発冊子「mirai book」の改定、印刷配布

○平成27年度に作成した高校生向け啓発冊子について、高校へのアンケートの結果に基づき、男女共同参画の視点から将来の働き方・生き方を具体的に考えるきっかけづくりとともに、高校でより活用してもらえるよう内容を再検討し、冊子の改定、印刷配布を行った。

〔改定の主なポイント〕

- ・グラフやデータの数及び内容を精査し、ポイントがわかるような解説に改めた。
- ・生徒が書き込む形で活用できるよう、ページ構成の見直しを行った。
- ・全国と県の平均初婚年齢の推移を併せて掲載するなど、本県の状況が具体的にわかる情報を追加した。



中学生向けライフキャリア教育プログラム・教材の作成

○文系・理系など、将来につながる進路選択の手前の段階にいる中学生に向けたライフキャリア教育を実施するため、中学生向けのプログラムを新たに企画・作成し、県内2校の中学校にて試行を行った。

〔作成したプログラム〕

- ・ライフキャリアすごろくで未来を体感！
35歳までの人生をゴールとしたすごろくゲーム
- ・未来の自分にインタビュー！
「28歳になった自分」を想像し、自分が「28歳」になったつもりで、ペアの相手からインタビューを受けるプログラム

